

世代間の交流

下前でゆきんこまつり

下前地区の3つの母親クラブが、1月12日(月)すくすくしたまえ館で「ゆきんこまつり」を開催しました。この催しは、母親クラブのみなさんが地域の子もたちに昔の遊びを教えたり、食事を楽しみながら交流するイベントです。

この日は地元の親子を中心に41人が参加、大型カルタ、親子〇×クイズ、ハンカチ落とし、ビン回し、ドップなどを楽しんだ後、豚汁やデザートと一緒に食べながら、世代間の交流を楽しみました。



さまざまな形で米の活用を

ピュア加工施設で和菓子づくり

米を様々な場面で活用するアイデアを提供しようと、12月20日(土)に和菓子づくり教室が行われました。会場であるピュア加工施設に集まった10人の参加者は、町内産もち米を使ったあんこ入りのもち、米粉蒸しパン作りに挑戦しました。米粉はピュアに設置されている機械で製粉したものです。

出来上がった米粉蒸しパンは、もっちりとした口当たり。黒糖入りが特に好評でした。

今回の教室は大人が対象ということもあり、参加者は和気あいあいとした雰囲気の中で楽しんでいました。



雪の中を力走

元旦マラソン

新年最初のイベントである恒例のマラソン大会が、元旦朝に体育センター前で行われました。開会では小野町長が「明けましておめでとうございます。今日は新年のスタート。ケガのないよう頑張ってください」とあいさつしました。この日は雪がふり、厳しいコンディションとなりましたが、参加した65人の選手たちは、頭に雪が降り積もりながらも、体育センターから津軽中里駅までの往復約2kmをそれぞれのペースで走りました。

また、中里交番と交通指導隊がコース上で選手誘導やチラシ配布などで交通安全を呼びかけました。

参加者は「今年は雪で頭が凍りそうだったがこれもまた楽しい。毎年参加しているので今後も続けたい」と話していました。今大会には、選手を応援しようとポニーも参加、一緒に走ってマラソン大会を盛り上げました。



心配ごと相談 町社会福祉協議会

中里地域	小泊地域
2月25日 成田 寛、古川 壽	2月18日 藪田由比子
3月11日 近村 敦、菊池 俊一	秋田谷徳美
相談場所 役場相談室 相談時間 午前9時～午後2時	相談場所 すくすくしたまえ館 相談時間 午前9時～午後2時

なんでも行政相談

日時…2月17日(火) 午前9時～12時

場所…中央公民館

行政相談委員…秋 元 武 弘、藪田由比子

※行政相談は、住民から寄せられた苦情や意見・要望を、住民と関係行政機関との間に立って、公正・中立な立場から必要なあっせんを行い、その解決や実現の促進を図ります。

ひつじ年を祝う

新年を祝う集い

新年を祝う集いが、1月4日(日)町総合文化センターパルナスで行われ、町関係者など約130人が参加しました。

開会では、主催者の小野町長が「昨年は大雨災害などはじめ、米価、漁獲高の低迷と基幹産業に大きな打撃があった。一方、阿武咲新十両昇進、町から国会議員が誕生など明るい話題もあった。今年は合併10周年を迎える。町としては子育て環境の充実として、子どもの保育料と中学校3年生までの医療費無料化を行います。また、農林水産業への支援のため、積極的に国や県へ働きかけしていきたい」と新年のあいさつをしました。

つづいて来賓として升田衆議院議員、成田県議会議員が祝辞を述べました。沖崎町議会議長の発声で乾杯した後、参加者たちは、それぞれ新年のあいさつを交わしたり、意見交換をしていました。最後は運試しの抽選会を楽しみながら、ひつじ年の新年を祝いました。



手を合わせ無病息災祈る

どんと焼き

正月に使われた松飾り、しめ縄、破魔矢、お守りなど役目を終えた縁起物を持ち寄り、一斉に焼き上げる「どんと焼き」が1月10日(土)宝の森広場ゲートボール場付近で行われました。

恒例のこの行事には約100人が参加しました。祭事では妙法寺山田副住職が祭司を務めました。どんと焼きの火にあたり1年間健康でいられるという言い伝えもあり、町民たちは立ち上がる炎へ手を合わせ、役目を終えた縁起物への感謝と家族の無病息災を祈りました。



中泊町シルバー人材センター 会員募集中

■入会のご案内…町に居住する原則60歳以上の健康で働く意欲のある人！

※シルバー事業は、就業や収入を保障するものではありません。

■お仕事の依頼…高齢者に適したお仕事を承ります。まずはお問合せを！

※お仕事によっては、必ずしもご依頼を受けられるとは限りません。



入会、お仕事の依頼に関するお問合せは

公益社団法人 **中泊町シルバー人材センター**
(町老人福祉センター内) ☎ 57-2161